

## 第 2 回塩竈市震災復興計画地区懇談会の概要について

## 1. 地区懇談会の概要について

地区懇談会では、市民の皆さまから震災復興にかかる意見を伺うことを目的として、現在策定を進めている塩竈市震災復興計画の策定経過や取り組みについて、国や県から新たに示された制度をもとに、具体的な復旧・復興に向けた地区別の復興構想（素案）について説明し、意見交換を行った。

意見交換では、防潮堤の復旧する高さや北浜緑地護岸の整備計画、避難ビルの整備などの防災関係についてのご意見や土地の嵩上げ、災害公営住宅などの住宅関係に関するご意見、高潮や大雨による増水に対応できるような下水道施設の整備についてのご要望など多岐にわたる質疑・意見交換が行われた。

## 2. 開催日程及び参加者について

今回の地区懇談会の対象地区は、前回 8 月に開催した地区のうち、津波により特に大きな被害を受けた浦戸地区や港町、北浜などの沿岸地区及び仮設住宅など、市内 9 か所で開催した。

NO	開催日	開催地区	開催場所	参加者数
1	10/23（日） 9:00～	桂島地区	旧浦戸二小	49
2	10/23（日） 11:00～	浦戸石浜地区	石浜集会所	18
3	10/23（日） 14:30～	寒風沢・朴島地区	宮城県漁業協同組合 塩釜市浦戸東部支所	45
4	10/23（日） 16:30～	野々島地区	浦戸諸島開発総合センター	28
5	10/24（月） 18:00～	本塩釜駅周辺地区	壱番館 5 階	56
6	10/25（火） 18:00～	北浜地区	保健センター	72
7	10/26（水） 18:00～	藤倉地区	保健センター	96
8	10/27（木） 18:00～	港町地区	商工会議所	77
9	10/28（金） 18:00～	仮設住宅（伊保石）	仮設住宅集会施設	46
参加者合計				487

参加者総数 487名（出席市議会議員数を含む。）

## 塩竈市震災復興計画 桂島 地区懇談会 会議概要

日 時 平成23年10月23日(日) 9:00~10:10

場 所 旧浦戸第二小学校

出席者数 49名

塩竈市 副市長、教育長、各部課長

事務局 震災復興推進室

司 会 震災復興推進室 室長補佐

### 1. 開会

### 2. あいさつ「副市長」

### 3. 議題

(1)塩竈市震災復興計画(案)について

(2)地区別復興について

(3)意見交換

### 4. 閉会

### <主な意見>

#### 【浦戸地区の復興 住宅とコミュニティの再建】

アンケートの3番ですが(1)の持ち家を希望した場合、集落の移転を希望はわかりませんが、現在地を希望となると、現在地は学校の校庭になります。どのように捉えればよろしいのですか。

現在地(従来地)に建てると希望すれば、それは可能なのですか。瓦礫が撤去された跡地に建てても良いのですか。

被災前の従来場所に建てるよりも、高台に移転するときと同じような助成や対応をしていただけるのですか。従来場所に建てる場合と高台に移転して建てる場合は同じような助成、対応等をしていただけるのですか。

災害公営住宅の耐用年数の4分の1で払い下げがあるかもしれないという話がありましたが大体の目安はあるのでしょうか。

今までの話を聞いていますと、今後の住宅については客観的に公営住宅が良いです。タイプは三種類あるので説明しましたということで理解してよろしいのでしょうか。

#### 【浦戸地区の復興 生活基盤の再生】

震災から7ヶ月になるのですが、陽が短くなって浜からここまでの街灯がないので対応をお願いします。側溝の蓋がところどころ開いていて非常に危険です。側溝の蓋だけでもいいですから早急に復旧をお願い致します。

棧橋からおりて砂利をひきつめて待合室に入る道路、そこに荷物が届いたときに高潮になると水浸しになり車で行けない状況です。本土から帰ってきたときは板を敷いても駄目で靴を脱いで歩いたりしています。また荷物が多いと車で運ばなければいけないので浮き棧橋から水浸しにならない状態で車で荷物が運べるようにしていただきたいです。

年配者がごころごころ引っ張るものに荷物を積んで帰ってくるのです砂利道で荷物が落ちるのでもう少し歩きやすいようにお願いします。小さい石を敷き直すとかはできないのでしょうか。

#### 【浦戸地区の復興 産業の再生】

カキ処理場に行く道路も高潮で行けない状況になりますのでその辺の対応を大至急お願い致します。

#### 【その他】

最近、10項目新しく国の対策で二重扉にするとか入口を改築るとか話が出ていますが市の方ではどのようにすすめていくのが決定しているのでしょうか。地場産業はカップを着て行うのでなるべくでしたら浦戸の方から先に進めていただけないでしょうか。

ガス代ですが市内の伊保石の方からガス料金を聞くと、こちらは高いと思います。サウジアラビアLPガス災害支援金という基金が出ているようですがそれは桂島では対象にならないのでしょうか。またガス代をもう少し下げてくださいたいです。

## 塩竈市震災復興計画 浦戸石浜地区懇談会 会議概要

日 時 平成23年10月23日(日) 11:00~12:00

場 所 石浜集会所

出席者数 18名

塩 竈 市 副市長、各部課長

事 務 局 震災復興推進室

司 会 震災復興推進室

1. 開会

2. あいさつ「副市長」

3. 議題

(1)塩竈市震災復興計画(案)について

(2)地区別復興について

(3)意見交換

4. 閉会

### <主な意見>

#### 【安全に暮らせる住宅の再建】

国会の予算で土木関係、また、地盤の嵩上げという項目で新しく予算が出ているようですけれども、私たちにその予算が回ってくるのかどうか心配で、私としては高台移転の希望がありますけれども、それでも自分のところの土地を嵩上げて住めればそれも安心でそのところを希望しておりますので、一軒だけで主張しても無駄があるかもしれませんけども、そういうところをご配慮していただいて検討していただければ幸いです。もし、高台移転となりましたらば、自分のところの土地がありましたら、そこを国で整備していただけるのか。どちらかに決めなければいけない状況ですので、勉強させていただきたいと思っております。

自分の土地が高台にあった場合、そこを整地する必要がある場合、その整地の補助があるかどうか教えてください。

5世帯というのは、集合住宅のような5世帯という事でもかまわないのですか。

現在家の状況を話しますと、大潮のたびに朝晩玄関下に入ります。そうするともちろん劣化が早くなって、後で工事してあげますよといっても手遅れになってしまいます。わたしが家を工事しようと思っても自分の力で出来ない。家は特別な状況がありますので、決断する場面にいたっておりますので、それをほったらかしにも出来ないし、国で予算が入っておりますので。

#### 【災害に強いまちづくりの推進】

防潮堤の高さ、3.3メートルから4.3メートル、沖を向いている桂島の前浜のようなところだと4.3メートルも必要だと思うんですけども、こういう内湾でも4.3が必要なのですか。

太平洋を向いている分と内湾を向いている分とで高さが違うので、これを一緒にするのか、それと現在70センチ沈下している。これを1メートルなら1メートルあげた後に4メートルの防潮堤を造るのか教えてください。

マリゲートの高さでさえ高いのに、あれよりさらに高いとなると。逆に津波を見に行くと犠牲になるというのも出てくるかもしれない。高台にすぐ逃げればよいが、あそこから波が来るのを見ていたら。石浜の場合はかえって逃げる高台が近いもんだから、そんなに高さは必要ないと思うんですけども、とにかく津波来たら逃げる事だという事です。

#### 【公共施設の早期復旧と震災対応力の強化、整備促進】

家の後ろの道路割れていますが、どうなりますか。

港湾工事の進行とともに雨水対策もやっていただきたい。貯水池を作ってもらってポンプアップとか。排水溝の傾斜も変わってくると思います。岸壁が上がると側溝も上がるので。雨水が今度流れなくなる。

## 塩竈市震災復興計画 浦戸寒風沢地区・朴島地区懇談会 会議概要

日 時 平成23年10月23日(日) 14:30~15:40

場 所 第一漁協ホール

出席者数 45名

塩竈市 副市長、各部長、建設部各課長

事務局 震災復興推進室

司 会 震災復興推進室

1. 開会

2. あいさつ 市民総務部長

3. 議題

(1)塩竈市震災復興計画(案)について

(2)地区別復興について

(3)意見交換

4. 閉会

### <主な意見>

#### 【災害に強いまちづくりの推進】

朴島には避難所がないんです。今回も神社の竹藪に逃げました。雪が降ってきて、シートをかぶって過ごしました。でも、年寄りもおりましてこれは無理だと思ひまして、神社の下の空き家をお借りしまして、鍵を破って入りました。なんとか避難所としてやっておりました。なんとか今度の災害には、備蓄されておりました菓子パンなど水など、ポンプの施設において2月に配布していただきました。それも各地区にみんな備蓄されておりましたが、朴島が取り除かれておりました。私はそれを強く不満に思っておりました。そういうことが無いように、住民が住んでいる限りは、同じ平等な、人数の差はあるんですが、同じに備蓄するものはやっていただきたいと思っております。今、避難所がないので、台風の大いのがきて高潮なんかがあれば、また避難しなければならないのです。今、床上にぎりぎりです。なんとか避難所だけはいち早くやっていただきたいと思ひます。

寒風沢の避難所に指定されているのが旧浦戸第一小学校ですね。3.11の際もそこに避難させていただいたわけですが、外壁がはがれておりまして、まだ春で雪・雨で寒くて寝られなかった状態でした。ブルーシートで雨風をよけながら寝泊まりしたという状況でございます。早急に、避難場所として指定している限りは改修をお願いしたい。

消防団です。消防団の詰め所について、今までの話を聞くと高台移転という話を聞いている。ただ、高台移転になると、いったいどこに詰め所をもっていったらいいのか。こないだ消防団の幹部会がありまして、元の櫓が建っているところに嵩上げなどをして、そこに作れないのかという話も出ている。ただ、場所の設定について区の人たちとも話をしていない。ただ、消防団の中の話ではそういう話も出ているし、保育所はどうかという話も出ている。高台移転するのであれば、保育所の場所もです。そうするとどこに詰め所をとということで決めかねているんです。場所の指定は高台で無ければだめなのか、元のところで嵩上げをしてはだめなのかお聞きしたいと思ひます。

#### 【公共施設の早期復旧と震災対応力の強化、整備促進】

松林寺ですが、常々防災の避難のときにはお寺さんに避難するとなっておりますので、その訓練がそのまま生かされたのが今回の3.11でした。お寺から旧道に行くまでの50メートルの道路、車一台も入れない。お寺の方から指定避難所の学校まで通じる道路、陳情もしている事ですので、あわせてお願いしたい。

#### 【浦戸地区の復興 住宅とコミュニティの再建】

寒風沢の南の方なんですけれども、今6軒しかありません。後は荒れ地になってるというか。個人所有も含めて道路もどの程度やっていただけたらというか、地盤沈下もはじまっているようですし、雑草等生えたら

ここどうなるんだらうという感じですね。

個人のところはどうなるのですか。建物がないようなところでは、道路も含まれますけども、あの辺どうなるのでしょうか。

高台移転後の跡地利用について話がありましたが、跡地の有効活用、あの辺は公有地として市の方で買収か何かをして、有効活用あるいは再開発をしていただきたいと思うのですが、その辺の考えはどうでしょうか。

地盤沈下しております。海水が住宅地に浸透しているのは皆さんご案内の通りなのですが、高潮でおちおち家で安心して寝る事も出来ないと。床下浸水、あるいは畳を上げなければならない。土盛りをして土地を嵩上げする際の助成制度があるのかどうか。無ければ、その辺の助成を市の方で考えていただけないかどうかお伺いしたいと思います。

#### 【浦戸地区の復興 生活基盤の再生】

寒風沢の街灯なんですけれども、今、非常に困っております。出来るだけ早く街灯を敷設していただきたいと思っております。

地盤沈下という事については、どうなんでしょうか。潮がわいてくるというか、水が湧いてきてるのがだんだん上がってきてるんですよ。

地震・津波によって市道鰐ヶ淵線ですが、かなり崖崩れがございまして、道路も亀裂が走っているという状況です。あそこは通勤者もおりまして、生活道路なんですよ。一刻も早く改善をしていただきたい。高潮対策として朴島では順調に仕事が進んでおりますが、排水溝の自動のポンプをつけるようにはなっておるんですが、いまだに設置しておりません。その辺をお願いいたします。

寒風沢です。地域の歩道ですね。高潮になると歩けなくなる場所がぼつぼつあるんですよ。高潮になっても歩けるような補修をしていただきたいと思っております。それから、海岸の船を着けているところですが、高潮になると船を着けなくなる場所があるのです。船の着けてあるところだけでも仮設をしていただきたいと思っております。それからお聞きしますが、浮き桟橋なんかをもってきて仮設にできないかと思うんですが、どうでしょう。

前に市営汽船の待合室を設置するという話がありまして、場所まで決めたんなんですけれども、いまだに待合室が出来てないという事で、昨日のように雨が降った場合、塩竈から来たお客さんが困ってましたので、出来るだけ早く待合室の設置をお願いしたいと思います。

#### 【浦戸地区の復興 産業の再生】

農地の部分なんだけども本屋敷地区の事なんですけれども、今は仮にやってるようなんですけれども、海の水が上がってきております。ですから海の水を留めてもらう事が先決なんではないかと思っております。田んぼ、堤防がすっかりできあがった後に、田んぼの整備もやっていただけるのかどうか。先の話ですけどもお伺いしたいと思います。

大潮と地盤沈下との絡みで南の方なんですけれども、ひより山の下あたりに田んぼがあるわけなんですけれども、これまでは、田んぼから海に流れるという前提になってたんですけれども、最近は逆に海から田んぼに入ってきているようです。大潮の方ですか、潮の方が高いという事ですか。その辺の逆流、検討漏れないようお願いいたします。それから小学校裏のなかずけ山の下の方の田んぼの道路が大潮になると通れなくなる。その辺も忘れないようお願いいたします。

## 塩竈市震災復興計画 野々島地区懇談会 会議概要

日 時 平成23年10月23日(日) 16:30~17:40

場 所 浦戸諸島開発総合センター

出席者数 28名

塩竈市 副市長、各部課長

事務局 震災復興推進室

司 会 震災復興推進室

1. 開会

2. あいさつ(副市長)

3. 議題

(1)塩竈市震災復興計画(案)について

(2)地区別復興について

(3)意見交換

4. 閉会

### <主な意見>

#### 【災害に強いまちづくりの推進】

野々島に住んでいる人は海が見えないと住めないのです。高台と言われておりますが、公営住宅でも現在の集落に土盛りをして公営住宅を必要としている状態です。今回の津波でもチリ津波でも人家に被害にあったのは柳浜から来た水です。表から入った水では床上くらいです。ですから柳浜の方を二重の防潮堤や高潮対策のような形でもってきて、池になったところに門堤をつけて災害時は閉めるようにしていただければどうかと思います。ここで育った人はここが一番良いのです。どうか考えていただきたいと思います。野々島は舟入島がありました。あそこで大分、津波を和らげて来ているようです。防災無線で5メートル、10メートルという話で大分津波から逃げましたがこちらに来たのはそれ以下だと思えます。舟入島のお陰だと思えます。塩竈、松島は浦戸があるから守れたのだと思えます。そういうことも考えていただき復興に今まで以上の生活が出来るように復旧していただきたいと思えます。

#### 【情報インフラの強化】

今、一番困っているのは情報が何もないことです。防災無線、それから夕方になると真っ暗になるので防犯灯が一番困っております。

#### 【浦戸地区の復興 住宅とコミュニティの再建】

公営住宅の件ですが今まで地域性の中で生きてきた島なのです。常にどんなことがあっても助け合いの中で生きてきた地域の中で何とかフラワーアイランドの安全性ということで市当局が考えているのは有り難いことではあります。できればいろいろな力を結集していただき野々島の棧橋に近い辺りにそういったものを造っていただけるようにご尽力をいただければ有り方と思えますし、何とかお願いをしたいところです。私はこれから先も子ども達もこの島で生きて行きたいと思えます。コミュニケーションも図れるこの地域で皆で和気藹々と、空いている土地については畑が作れる花が植えられる、皆が携わって皆で和気藹々と暮らせるような場所、震災に遭ってまた立ち上げられるような場を市当局にお願いできればということをお願いだけの言葉とさせていただきます。

野々島の被災地域には建築制限があるのかどうか教えてください。

公営住宅の際の建築再建支援金200万円は一般家庭の建築の場合は対象にならなくなるのですか。

今の場所に家を再建することが可能であるとするならば、柳浜は防潮堤の高さが4.3メートルということですがまさ山と観音堂の所に二段防御という形で柵を造って海岸に防潮堤を新しく造ってもらえば野々島の現在地に再建するという人が増えると思えます。ただ、安心して住むためには防潮堤も二段防御の方法をとってもらえば現在地に盛土をして再建できると思えます。何とか国、県の方に働きかけていただければと思えます。

### 【浦戸地区の復興 生活基盤の再生】

現在、石浜と野々島が復旧しまして通常通り渡船運行しておりますが寒風沢が復旧しておりません。今現在、寒風沢の学校関係の方々が朝晩、野々島と寒風沢まで沖を渡って送り迎えをしております。これから日が短くなってきます。三人が業務にあたっておりますが暗くなるので皆、人命を預かっておりますから不安に思っております。野々島のこれまでの場所に浮き桟橋を仮でいいのでドラム缶などを組んで復旧を早めて欲しいと思います。

### 【浦戸地区の復興 産業の再生】

先日、湾内の瓦礫撤去をしていただきましたがまだ瓦礫で浅くなっております。船の乗下車するのに支障をきたしております。浦戸の方にも作業をするときにもう少し聞いていただければと思います。浅海漁業で牡蠣処理場に行くときに岩で通れなくなりました。そこを何とか通れるようにして欲しいです。非常に危険な状態になりますので何とか撤去していただきたいと思います。高潮等で岸壁が沈下しております。そのため、海藻や泥が岸壁に付いています。これから牡蠣、海苔の生産時期になっております。夕方、海岸にあがると滑ります。それを注意するにも照明がありません。仮復旧でもよいので考えていただきたいです。

## 塩竈市震災復興計画 本塩釜駅周辺地区懇談会 会議概要

日 時 平成23年10月24日(月) 18:00~19:30

場 所 壱番館 5F

出席者数 56名

塩竈市 副市長、各部課長

事務局 震災復興推進室

司 会 震災復興推進室

1. 開会

2. 副市長あいさつ

3. 議題

(1) 塩竈市震災復興計画(案)

(2) 地区別復興について

4. 閉会

### <主な意見>

#### 【安全に暮らせる住宅の再建】

家の前でビルを壊しているのですが市役所は関係ないのでしょうか。騒音とかが響くのですが市役所は全然関係がないのでしょうか。

#### 【災害に強いまちづくりの推進】

防潮堤の高さについてですが、防潮堤は単に津波・高潮を防ぐ意味以外に景観の点でも重要だと思います。3.3メートルとか4.3メートルの高さは百年に一回の津波に備えてという説明だったと思いますが、明治以降そのような高さの津波は発生したのでしょうか。チリ地震津波は3.3メートルの高さを超えたのでしょうか。

飲食業をしているので塩竈に来るお客様は景観等を重視していると思います。復興のビジョンを決めて防潮堤の高さを決めて欲しいです。

夢のある話をしたいのですが例えば対岸に向けて防潮堤というか埋立てしてしまう。防潮堤でくくって2メートル3メートルの埋立をすれば新しい市街化、埋立したところに何かを造ったり、防災上も非常によいのではないかと思います。このような事業に国の補助はないのでしょうか。

宮町側にいるのですが目黒歯医者さんの前辺りから高潮のとき毎回冠水します。去年、循環ポンプをつけたから大丈夫だと聞きましたが津波のときにポンプ場も冠水しましたし、宮町側に排水するので高潮のときには呑みきれずにただ循環しているだけです。川岸の所に水門でもつけて大きなポンプでもつけていただかないと毎回、高潮で冠水しますので対策の中に考えていただきたいです。

道路が下がったと同時に雨水・下水の管も壊れていると思います。そのことに関しては道路の補修と並行してやっていただけると理解してよろしいでしょうか。

防波堤も百年に一回の大計ですよね。防波堤を造るときに私も話を聞いておりましたがこれで大丈夫だという防波堤を倍くらいの高さの津波が超えていきました。防波堤は全部の水を止めることは出来ないと思います。岩手県の田老町の例もあります。せめて半分くらいの水を止めるようにしたらいいと思いました。

#### 【公共施設の早期復旧と震災対応力の強化、整備促進】

広報号外の3ページの地図で国道45号線の嵩上げということで書いてあります。45号線といっても長いので嵩上げするというのは聞いておりますが沈下の程度によっては現状のままか、かなり沈下した所だけを嵩上げするのか、何処までを嵩上げするのか教えてください。

広報で構いませんのでまち全体がどのように沈下しているのかを知りたいので五段階なり三段階なり色分けして知らせていただければと思います。

本塩釜駅前も含めて海岸通りは地震後、道路が下がったままです。海岸通10番とか旧ジャスコに行く

通り。安心安全に通れません。大規模な開発は時間が掛かることだと思いますが、皆が安心して通れる道路等の補修はいつ頃するのでしょうか。なかよし橋の照明も付けて下さい。

### 【市民生活を支える商工業の再生・復興】

先ほど策定委員会の方に商業関係の人が入っていないということで、決定されてからああでもないこうでもないと言うつもりはありませんが、できれば策定委員会の中に商売をしている方が入っていないと、日本一住みやすいまちづくりを提言しているわけですから非常に大事なチャンスですからそう言うことも含めて前に進めていただきたいと思います。短い時間の中でこのような大事な話をやっていくのは非常に厳しいと思います。

### 【みなとまち塩竈を体感する観光の再生】

本塩釜駅前の観光客、人通りの激減に対してどのような対策をとるのでしょうか。

12月に中間案、構想が出されるということでしたが、構想の中には今後どうなるかという復興(漁業・観光等)のビジョンはできているのでしょうか。

海岸通りのアーケードを解体するような話がありましたが、アーケードがなくなると灯りがなくなるのでその辺はどのように確保していくのですか。

全体的にこのように大きな話になってくると、我々は商店関係の再開発ということを進めたいのですが範囲が広がると短い時間の中でいろいろな意見を出し合ってもまとまりが付かなくなると思います。もう少し絞った会議にしてください。

### 【その他】

今日の懇談会のご案内も塩竈市の市政だよりでなければわかりません。海岸通りも他市町村に引っ越した方がたくさんおり案内状が届きません。このような会議のときは、移転した方も調べてご案内していただければ地権者の理解が得られないのであれば、せっかく良い意見、アイデアを出していただいても伝わらないと思います。この復興構想はどのような形、どのような方々で作っているか教えてください。

本塩釜駅周辺地区についての説明会ということで皆さんに集まっておりますが、やはり海岸通りも含めた駅前商店街のこれからの次の子どものために、今よりもいい塩竈を渡して行くため、この一点のみに我々は思って復興を進めていかなければならないと考えます。その目的から外れたときにあまり良い復興は出来ないのではないかと心から思っております。我々の中から復興計画の策定委員会に入っていない中でどうやって復興を決めていくのか若干不安に思いますので、もし検討されていくのであれば今日おいでになっている方の中から良いアイデア、それを復興検討委員会に陳情するなり、お示しするなり、そういう機会もちょうだいしながら進めて行くべきではないかと考えます。

本間医院さんの辺りの計画が前回出ていなかったのが解らなかったので、市の方としては現在考えていることがあるのか教えてください。

お願いですが塩竈市でどのような復興計画・復興構想があるのか例えばインターネットで調べても広報を見ても情報が不十分だと思います。

例えば今回の津波が関係する地域で復興計画が発表されていますが非常にわかりやすいです。塩竈市は復興構想というよりも単なる対策だと私は思います。各市町の中では具体的に何年頃までに何処がどういうふうになるか、そしてそれが市長の例えば産業とどういうふうに結びついているかとか、そういう情報がもらえます。しかしながら塩竈市の復興は一度、塩竈市の検討委員会を見学しましたがその後、ネットを見ても広報を見ても解らない。この後どのように変わって行くのか解りません。対策だけでは不親切だと思います。先ほど塩竈の埋立構想の意見がでましたが、その意見が良いかどうかは別としてやはりそれくらい思い切った具体構想を出して例えば塩竈は水産・観光で具体的にどのように復興していくのか我々の目に見えるような計画を立てていただきたいと思いますし、ちゃんとインターネット、広報等で知らせていただきたいと思います。

ジャスコの跡地は何になるのでしょうか。あのままなのか、何か計画があるのか。あのままの状態でしたらもったいないので、塩竈市の復興プランが具体的に何を言おうとしているのかわからないので、あそこはアピールするのに良い場所なので塩竈市としてジャスコから場所を借りて看板を立てて塩竈市はこう

いう形で復興・復旧しますよと誰でも見やすいような大きさに書いていただければ塩竈が進む方向が解ると思います。

あそこは塩竈の港奥部で一番津波が高くなって来たところだと思います。誰もが注意をする所だと思います。防災拠点というか何か知恵を出せば、水害・雨水・津波の役に立つ地点だとは思いますが。

この計画だと12月までに震災復興計画が決定ということになっておりますが、その決定の中には副市長さんがお話しをした具体的な方策まで含めていると理解してよろしいですか。

先ほど案を出してくれということで話がありましたが既にジオパークということで市に連絡をしております。そういうような一種の自然公園を作って、宮城県の復興ということで国交省、環境省とも相談している最中です。このような案について塩竈市を含めて、関係する15自治体に連絡をしております。その中で何人かの市長からは非常に積極的な案、対応が出てきております。しかし塩竈市から何のレスポンスもありません。塩竈市を何とかしたいという思いがあったのですが正直申し上げましてがっかりしたのが私の現状です。

## 塩竈市震災復興計画 北浜地区懇談会 会議概要

日 時 平成23年10月25日(火) 18:00~19:30

場 所 保健センター

出席者数 72名

塩 竈 市 副市長、各部課長

事 務 局 震災復興推進室

司 会 震災復興推進室

1. 開会

2. あいさつ「副市長」

3. 議題

(1)塩竈市震災復興計画(案)について

(2)地区別復興について

(3)意見交換

4. 閉会

### <主な意見>

#### 【安全に暮らせる住宅の再建】

高台移転の件ですが、防潮堤がL1レベルに対応出来るものならば今までの場所に住みたいというのが住民の本音だと思います。高台移転の進捗情報があれば教えてください。

北浜一丁目の市道について高上げの計画はあるのですか。

災害公営住宅は北浜地区に建てる考えはあるのですか。

道路と宅地の高上げですがどういった所を高上げするのでしょうか。

#### 【災害に強いまちづくりの推進】

防潮堤に関してはいつから着工して、いつ完成するのでしょうか。

防潮堤を造っていただくのはよいことですが防潮堤だけでは守りきれないと思います。津波は予測を超えることがたくさん起きると思います。今回の津波が1千年に一度の津波とすれば市内に残っている建物は鉄筋コンクリート、鉄骨のようなしっかりした建物です。避難の事を考えると北浜から塩竈二小に逃げると言っても老人は大変だと思います。できる限り近くの高い場所に逃げる場所を確保してほしいですし、防災(避難)マップも作っていただきたいです。仙石線の高架は今回の津波で大丈夫だったので津波が早くきた場合は乗れるように考えてほしいです。避難できる場所がすぐ近くにあるように検討してください。

防潮堤について、いつ工事が始まるのかなどは現段階ではお答えしていただけないのですか。

経費をもう少し考えて防潮堤をつくることを前提として取り組んでください。我が家は今回の津波で造船場から大木がたくさん流れてきたため被害を受けました。今回の震災を考えると防潮堤を造ることが最初だと思います。

県が主体となる事業に関しては宮城県の港湾課に来てもらい直接担当者から説明してもらった方がよいと思います。築港に防潮堤の高さを示すと言っておりましたが、北浜の説明をしているのですから北浜の高架線の所に記載してください。

避難通路が、階段は無いし手すりも無いので上まで登るのが大変です。何とかしてほしいです。

北浜護岸の事業は55%が県の事業で45%は市の事業で、平成になってから市の事業は全く取り上げられていないわけです。50年も出来ていない護岸が3年で出来るというのは信用できません。窓口は市で一本化して下さい。そうしないと管轄が違つためにあちこち陳情にまわらなければなりません。

安心、安全な道路を確保して下さい。避難するのに手すりもないしお年寄りは大変です。安心、安全のまちなのに市の方は現実に歩いて確認しているのでしょうか。指定避難所の二小に行くのはとても大変ですのもう一度避難通路の確認をお願いします。

防災ビル、市役所をスロット店の跡地に持ってくれば防災基地にもなるし行政の一貫性にも繋がるのではないかと思います。

北浜は現状維持のようなお話しがありましたが、それでは低いです。新川岸川の橋くらいまで高くして防波堤を持っていかないと、この高さでは低いと思います。

産業道路の高架橋の下まで防波堤をしてほしいです。

今回、新浜地区に被害がなかったのはこの防波堤があったからだと思います。これを反対側にも出来ないのでしょうか。

今の時代は情報伝達が優先すると思います。3月11日の大震災時も情報伝達がスピーディに行われていましたので避難した方もたくさんいると思います。北浜一丁目に防災通報の塔があるのですが今、動いておりませんので早急に整備をお願い致します。

去年の2月27日の(チリ地震津波の時に)津波が来ると一日中サイレンが鳴りっぱなしでした。

ある人が警察署に避難したらここは避難場所ではないと断られました。警察署も避難ビルとして使えるように塩竈市からお願いして下さい。

防災無線はエコーでハウリングして聞こえません。何か工夫してください。

防災無線ですが塩竈市の場合は何メートルの津波が来ますとか、何処に何メートルの津波が来ましたという情報を放送していただき、慌てて避難して助かった方もいます。やはり人間の生の声でリアルタイムに放送していただいたことに感謝しております。

#### 【公共施設の早期復旧と震災対応力の強化、整備促進】

まさに緑地の所に住んでいる者です。道路が市道と県の港湾道路となっております。宮城県の管轄は砂利、市の管轄はまだ海水があがって抜けていけない。(堤防に砂利をしいてから水が溜まっている状態)国と県と市と行政が一体となって整備しなければいけないと思います。いろいろな管轄があるのでどう考えているのですか。行政として道路に関する要望は市役所の窓口一本にしてほしいです。あちこちの窓口に陳情に行ったり、あちこちに管轄があり自分達の仕事が進みません。

仙石線の高架下が夜は暗く、道はでこぼこで歩けない状況です。JRでは直してくれるのでしょうか。今まで道路をボーリングの工事をして地盤が固まるものを詰めていたようですがうちの工場の前で震災のために中断になりました。工事が取り残されているので大潮の時や台風の時に水が溢れてきます。いつ工事してくれるのですか。下水の掃除をしてもらったので多少、解消はされましたが早く工事をしてください。

橋の高さレベルで45号線まで道路の高さを持って行ってほしいです。私の家の前も皆さん全部まっすぐ嵩上げできるだけの宅地の高さになっています。

#### 【その他】

今日の懇談会の議事録はいただけるのでしょうか。いろいろな意見が出ましたが、すぐにできることは広報等を通じてこういうことを行いましたと市民に知らせてください。

土日になると塩竈市役所は電話に出ないので、消防署に電話をして対応していただいております。土日祝日も当番制で対応していただきたいと思います。

## 塩竈市震災復興計画 藤倉地区懇談会 会議概要

日 時 平成23年10月26日(水) 18:00~19:40

場 所 保健センター

出席者数 96名

塩竈市 副市長、各部課長

事務局 震災復興推進室

司 会 震災復興推進室

1. 開会

2. あいさつ「副市長」

3. 議題

(1)塩竈市震災復興計画(案)について

(2)地区別復興について

(3)意見交換

4. 閉会

### <主な意見>

#### 【安全に暮らせる住宅の再建】

国の三次補正の基本方針のところで擁壁の崩落等々、地盤沈下等の予算が付いたかと思っていたのですが記載が無いので市として予算的にどのように考えているのか教えてください。

これからの方針として私有地のブロックの崩落を住民でやるにも金額的に大変ですので予算的な部分が今の段階で解っていれば教えてください。

山の部分も国の土地ですから大変だとは思いますが、山を何とか利用しなければと思います。私は二中跡地に住んでいるので何度も被害に遭いました。水の被害に遭った人から言えばここには住んでいけないという気持ちです。規制をかけないから、お直し下さいといっても規制をかけなければ同じ目に遭うなと思います。雨が降れば眠れない。二中の跡地はトラックが行き交うだけで振動がきますし、先日の台風15号の被害で本当にここには住めないと思いました。

#### 【災害に強いまちづくりの推進】

防潮堤の高さの件ですが、既存の防潮堤が標高で2.7メートル記載されております。今後3.3メートルから4.3メートルの高さで検討しているという記載がありますが、東京湾の平均海面と標高との間に実測値としてどれくらいの差があるのか、または無いのか教えてください。またレベル1の津波であれば3.3メートルから4.3メートルの高さの防潮堤で安全だという根拠を教えてください。

先日の台風15号のときに高い所から水が流れてくる、病院の前の升からは水が吹いている、交差点では水を吸っている、ドラム缶がぐるぐる回っているという状況が2時間位つづきました。実際、現在の藤倉のポンプ場は手動で動かしているそうですが、通常自動で動くのをマックス100%とすればどれくらいの稼働率で動いているのですか。もしそれが100%マックスで動くのであれば先日の台風15号のときは水を吐き出すことが出来たのか、あのように水が溜まらなかったのか教えてください。

全体的なことを考えると二小の所にある山を復興資金で崩せないでしょうか。塩竈には土地がないのでそこを崩すことによって移転用地の確保等が出来るかと思います。

頻度の高い津浪から生命財産を守るためにと書いていますが藤倉も同じです。

下水にしても何のためにあのような大きなポンプ場をつくったのですか。何の役にも立たない、津波で壊れてしまうようなポンプ場なのですか。藤倉地域には誰もいない状態になってしまうのではないのでしょうか。

地盤沈下についてですが地質学的には70センチ位地盤沈下したそうですが、同時におそらく液状化だと思いますがそうすると1メートル以上下がっていることとなります。それを加味して防潮堤が4.3メートルなのではないでしょうか。地盤沈下に関しては嵩上げ以外に方法はないと思います。

先日の台風15号で下水道の蓋が開いて汚物が出ている状態でした。雨が降る度にそうなりますので、屋根からの水が排水管ではなく下水道管に入っているのではないかと思います。確実にそういう状態だと思います。一軒、一軒、調べて欲しいです。水道料金も安くなると思います。早急に対応をお願い致します。

#### **【公共施設の早期復旧と震災対応力の強化、整備促進】**

藤倉2丁目です。交差点の角に面した所に住んでおります。私の家の前の道路から二小に向かう道路を整備していくということは本当でしょうか。

私と向の家が市に解体依頼しました。大変難しいと思いますが、藤倉のために土地を提供しますのでぜひ道路を拡充してほしいと思います。

道路の嵩上げは宅地との段差を考えて整備をお願い致します。

地震・津波以上に台風も大変です。雨が降ると心配で寝ていられません。ポンプ場が半年もたって出来ていないというのは大変なことです。側溝のドロ上げだけで改善されるのでしょうか。雨に強い藤倉2丁目に改善してください。道路も大型車が通ると振動がものすごいです。宅地と道路の段差も改善して綺麗な舗装道路にして下さい。都市計画道路（新浜町から二小、長沢郵便局）ですが昔から（20年30年前から）話は上がっているのに未だに出来ていません。市として重要な道路として直す優先順位を付けて下さい。

ポンプ場のことですが地震前に止まっていたのではないかと聞きましたが本当でしょうか。

広報号外の4ページに台風15号の支援金があります。これは建物だけが対象です。私も商売をしておりますが建物だけで支援金をもらっている方はあまりいないと思います。むしろ設備等の方に重点を置いていただきたいなと思います。

狭あい道路の解消と書いてありますがどういう意味でしょうか。

雨が降る度にかげ崩れが増えてきますので早めに対応をお願い致します。

#### **【みなとまち塩竈を体感する観光の再生】**

水族館の問題ですが市も関わってくると思いますので優先順位を考えて行ってください。

## 塩竈市震災復興計画 港町地区懇談会 会議概要

日 時 平成23年10月27日(木) 18:00~19:20

場 所 商工会議所

出席者数 77名

塩竈市 副市長、各部課長

事務局 震災復興推進室

司 会 震災復興推進室

1. 開会

2. あいさつ「副市長」

3. 議題

(1)塩竈市震災復興計画(案)について

(2)地区別復興について

(3)意見交換

4. 閉会

### <主な意見>

#### 【安全に暮らせる住宅の再建】

嵩上げする場合宅地内の給水管、下水管がとて深くなると思いますがそのメンテナンス的な部分の説明をお願いします。

今年、来年、港町に家を造る人にどれくらいの高さを目安にすれば今度、家を造るとき大丈夫なのか。またスケジュールを教えてください。

#### 【災害に強いまちづくりの推進】

従来の防潮堤では満潮時には港町2丁目は常に潮水で冠水しております。何年前かに宮城県で排水溝の海に流れ出ているところを調べたら何力所か働いていないということで満潮時になると側溝から逆流して水がくるということなので防潮堤以前の問題だと思います。防潮堤をいくら高くしても下から来る潮なので、防潮堤以外も調べて修理してください。

#### 【公共施設の早期復旧と震災対応力の強化、整備促進】

嵩上げの計画ですが全く知られていません。市がこちらは県の管轄だから関係無いと言って県が中の島公園の地盤を上げたらまた港町2丁目が一番低くなります。その辺はどのように考えているのですか。道路は均等な高さを前面的に展開するという発想ではないのですか。傾斜した道路になるのでしょうか。個人の自宅が地盤沈下しているのに対して道路を嵩上げたためギャップができ住家に水が入りやすくなっていますがそれについてはどうするのでしょうか。

中の島公園を嵩上げばかりしようとしています。配管を大きくすれば干満の影響を受けないと思います。県に働きかけはないのでしょうか。毎回、公園が池状態になっています。

町内会がまとまれば道路の嵩上げをするという話がありましたが、その場合何%以上まとまれば認めてもらえるのでしょうか。

安心して住めるまちづくりという復興計画がありますが、高潮、大潮、豪雨で浸水する可能性が今後もありますので毎年起こる可能性があるものに関してどの順番でどれくらいの期間で行うのか住民も分かるように説明してください。

マリゲートに向かって道路勾配を持っていくことがなぜ出来ないのか教えてください。道路が水平になるのは図面から分かるのですがどうして港町2丁目を一番低くするのですか。最終的にポンプの力を借りようとしている結論もわかりません。どうして海の方に勾配を持っていけないのですか。

大潮のときに港町の下水道処理が間に合わないために下水処理管のバルブが絞られてトイレが流れなくなります。市に相談すると仕方ないという回答でしたがそれでは困ります。

道路を上げる計画ですが、これをするによって港町に台風、大潮のときに冠水しないという計画案ということによるのでしょうか。

## 塩竈市震災復興計画 仮設住宅 地区懇談会 会議概要

日 時 平成23年10月28日(金) 18:00~19:20

場 所 伊保石ステーション 集会室

出席者数 46名

塩竈市 市長、副市長、各部長、課長

事務局 震災復興推進室

司 会 震災復興推進室

1. 開会

2. あいさつ 市長

3. 議題

(1)塩竈市震災復興計画(案)について

(2)地区別復興について

(3)意見交換

4. 閉会

### <主な意見>

#### 【安全に暮らせる住宅の再建】

今回の震災で地盤が下がり家が傾き今回、解体します。震災後、業者の方に見てもらったらこの傾きは擁壁との関係があるといわれました。できれば同じ場所に家を建てたいと思っていますが宅地の擁壁と側溝の関係は市とどのように関係してくるのでしょうか。擁壁の所が空洞になっているので地盤が沈下して家が傾いたようだと言われませんでした。

4メートル級の擁壁に大きなクラックが入りまして、市の住宅相談に行ったら、下が危ないのでまず直してくれという話でしたので直すのに実際900万円でした。すぐ住まないにしても直さなければいけなかったのが借金だけ増えました。市の対策として那須烏山市では今回の東日本大震災宅地復旧工事助成金が市の方から上限400万円、工事費も2分の1まで出るような話が8月か9月にありました。最近では一関市でも宅地災害復旧助成金が市の制度として出たようですが、塩竈市としてはどうなのでしょう。災害公営住宅はどの辺りに建設されるのでしょうか。

#### 【災害に強いまちづくりの推進】

防潮堤の高さの件ですが、個人的な事を言わせていただくと私は防潮堤の高さが無かったことで潮が高くなったのを見て逃げられたという事実があります。いろいろな意見はあると思いますがもう少し検討していただくのも一つかと思えます。

津波を被ってしまった個人の土地は売れなくなっています。そういった土地はずっと持っていなければいけないのでしょうか。

#### 【浦戸地区の復興 住宅とコミュニティの再建】

先日、その土手の草刈りをしていた方が自分が山の土地を持っているので公営住宅を建てるならそこに建てればいいのかと聞いていました。その土地は松島湾との景観がどうかという土地のようです。

#### 【浦戸地区の復興 生活基盤の再生】

私の娘はここから浦戸の学校に船で通っておりますが、先週(22日)私も一緒に行きましたが野々島の棧橋が浦戸全部に言えますが地盤沈下で危険な状態です。満潮時になるとブルーセンターまで水が上がります。通れるように足場を造っていただきましたがそこから学校まで移動するのも大変な状況です。もう少し危険性のないように対処をしていただきたいと思います。

#### 【その他】

家族6人が順番に風呂に入っていくと、どんどん冷たくなっていきます。追い炊き機能を付けていただけないのでしょうか。先日、日赤かと思いますが暖房器具をもらいました。調べたら18万円くらいする器具でした。その様なものをいただくのは有り難いのですが、それくらいの値段がするのなら追い炊き

機能に変えていただきたいです。

玄関の二重サッシの話がありましたが下の脇が隙間だらけなのでそこも隙間がないようにきちんとしていただけますか。

砂利道をアスファルトにするようですが、アスファルトにすると道路が高くなってしまい私の家の方は下がっているような気がしますので家の中に水が入ってくると思います。

前の方を通ると排水溝に台風後、ごみが集まっています。ここが一番の表になるのに、たばこの吸い殻やボリのゴミなどあります。排水溝は土が溜まっているので、今度、雨が降ったら駐車場に水が流れてくると思います。

ビールの空き瓶、空き缶が同じ場所に捨ててあります。何度もかたづけました。コンビニの袋ごとゴミを置いている人もいます。ここだけではなくて、塩竈市は観光地ですから、皆でまとまってきれいなまちにしましょう。皆で月に一回でもいいですからここも掃除したらどうでしょう。気仙沼の45号線は6月から花を植えてきれいにしています。ゴミもありません。ところが塩竈市はゴミくずと空き缶があちこちにあります。観光地として恥ずかしいです。災害の後だからこそ、ここだけではなくて皆で市長さんが先頭に立って、ゴミのないきれいな塩竈市にしてください。

これから利用させていただくタクシーの件ですが200円で乗れるようになります。私、一人が乗る場合は200円ですよね。相乗りする場合の金額はいくらになりますか。